

No.	ジオサイト	解説看板	個別解説パンフ (ルートマップ含む)	ガイドによる解説	ガイドブック (普及書・解説書など)	文献(報告書, 論文, 書籍など)		下仁田 自然館 所蔵		
						分野	タイトル		査読	
1	荒船山	△	○		下仁田町の地質	地質	本宿団体研究グループ(1970)グリーンタフ変動の研究—本宿グリーンタフ層についての団体研究—. 地団研専報, 16, 95p.			
						地質	佐川(1898a): 荒船火山地質調査報文. 震災豫防調査會報告, 19, 47p.			
						地質	佐川(1898b): 荒船舊火山. 地質学雑誌, 557: 329-337.	○		
						地質	佐藤(2004)妙義—荒船—佐久地域の火山岩類のK-Ar年代と火山フロントの交代. 群馬県立自然史博物館研究報告, 8: 109-118.	○		
						地質	佐藤(2005)荒船山の火山岩のK-Ar年代と本宿カルデラの火山活動史における意義. 群馬県立自然史博物館研究報告, 9: 11-27.	○		
						地質	佐藤(2007)荒船溶岩のK-Ar年代と兜岩動植物化石群の時代. 群馬県立自然史博物館研究報告, 11: 53-61.	○		
						化石	八木(1921)クリシュトフォウイチ氏鑑定信濃産第三紀植物化石目録と其産地. 地質学雑誌, 28: 265-272.			
						地質 化石	八木(1931)信州荒船火山兜岩産植物化石と其周縁地質との関係. 地学雑誌, 43: 268-283.			
						化石	楨山・君塚(1934)長野縣南佐久郡樽ノ澤産蛙化石. 地球, 21: 325-328.			
						地質 化石	八木(1936)浅間火山. 信濃教育会			
						化石	Okada(1937)A Fossil frog from Japan. Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan, 30: 27-29.	○		
						化石	Suzuki(1967)Discovery of <i>Tetracentron</i> Leaves from the Neogene in Japan. Proc. Japan. Acad., 43: 526-530.	○		
						化石	奥水(1982)長野・群馬県境 新第三紀兜岩植物化石層産昆虫化石. 地学研究, 33: 397-426.			
						化石	奥水(1984)長野・群馬県境 新第三紀兜岩植物化石層産動物化石. 地学研究, 35: 73-87.			
化石	尾崎(1984)兜岩層(上部本宿層)産イヌマンサク属およびオオギリ属の化石について. 横浜国立大学教育学部野外教育実習施設研究報告, 2:1-8.									
化石	Ozaki(1987) <i>Tetracentron</i> Leaves from the Neogene of Japan. Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan, N.S., 146: 77-87.	○								
化石	Ozaki(1991)Late Miocene and Pliocene Floras in Central Honshu, Japan. Bull. Kanagawa Pref. Mus. Nat. Sci. Spceial Issue, 244p.									
化石	長谷川ほか(1993)第三紀兜岩層産の蛙化石. 横浜国立大学教育学部野外教育実習施設研究報告, 11:9-15.									
化石	Nokariya and Hasegawa(1998)Two fossil ranids from the Late Tertiary Kabutoiwa Formation, Gunma Prefecture, Central Japan. Bulletin of the Gunma Museum of Natural History, 2: 1-10.	○								
2	史跡 荒船風穴	○	○		下仁田町の地質, 風穴本	民俗 地質 地質	下仁田町の地質 関谷ほか(2014)群馬県下仁田町「史跡 荒船風穴」の地質条件と冷風の仕組み. 群馬県立自然史博物館研究報告, 18, 117-128. 「荒船風穴蚕種貯蔵所跡」貯蔵所と冷風発生の壮大な仕組みと魅力—【普及版】	○		
3	荒船の湯		○				なし			
4	神津牧場		○		○		財団法人神津牧場(1986)神津牧場百年史. 財団法人神津牧場, 東京, pp. 312. 八木(1997)神津俣祐先生の故郷を訪ねて. 地質ニュース, 509: 43-48.			
5	阿唱念の滝	×			下仁田町の地質		なし			
6	じいとばあ	×			下仁田町の地質		なし			
7	天狗の足跡						なし			
8	虻田福寿草の里		○				動物 動物	岩井(2009)下仁田・妙義地域のサル対策の記録. 群馬県立自然史博物館研究報告, 13: 139-143. 松岡弁治郎・井原敬之助(1941)群馬県甘楽郡小坂鉦山鉦床調査報告. 地質調査所研究資料集, 番号2408, 24p(図4p)		
9	中小坂鉄山		○		下仁田町の地質		地質	地下資源開発審議会鉦山部会(1961)未利用鉄資源 新井ほか(1966)下仁田構造帯. 地球科学, (83): 8-24.	○	○
							鉦物	岡田広吉(1968)岩手県釜石鉦山周辺の餅鉄. 地学研究, 19(10), 279-281		
							鉦物	岡田広吉(1976)餅鉄(磁鉄鉦礫)に関する研究(上). 地学研究, 28(1-3), 17-29		
							鉦物	岡田広吉(1977)餅鉄(磁鉄鉦礫)に関する研究(上). 地学研究, 28(10-12), 351-366		
								群馬県史編さん委員会(1989)群馬県史 通史編8 近代現代2. 群馬県, pp.		
					考古	原田(2001)群馬県下仁田町 中小坂鉄山 製鉄所遺跡の現状と保存問題. 産業考古学, 101,				

9	中小坂鉄山				考古	原田(2006)中小坂鉄山の歴史. 産業考古学, 120,		
					考古	原田(2009)中小坂鉄山高炉跡. 季刊考古学, 109,		
					考古	原田(2009)銑鉄の溶解と大砲鑄造. 季刊考古学, 109,		
					考古	原田(2009)「日本の近代化における中小坂鉄山の意義と遺産の概要」『群馬産業遺産の諸相』、日本経済評論社. ISBN 978-4-8188-2047-0		
					考古	日本地質学会編(2008)日本地方地質誌3.関東地方』. 朝倉書店, 竹内圭史「中・古生界 地質概説. ISBN 978-4-254-16783-2		
					考古	日本地質学会編(2008)日本地方地質誌3.関東地方』. 朝倉書店, 高木秀雄「関東山地 領家帯. ISBN 978-4-254-16783-2		
					鉱物	竹田英夫(1961) 関東甲信越地方、第1節群馬県. 通産省「未利用鉄資源」,第9輯,149-155		
					考古	日刊工業新聞『産業遺産 時を越えて輝く』、日刊工業新聞社、2010年 ISBN 978-4-526-06573-6		
					考古	下仁田中小坂鉄山研究会(2004)第1回中小坂鉄山シンポジウム報告書.		
					考古	下仁田中小坂鉄山研究会(2006)第2回中小坂鉄山シンポジウム報告書.		
			考古	たなか踏基『鷺の笛 中小坂鉄山秘聞』、幻冬舎ルネッサンス、2012年 ISBN978-4-7790-0773-6				
			歴史	中江、原田(2016)「中小坂鉄山の銑鉄と鑄鉄鑄物」 鑄造工学 2016年11月号 689-693				
			動物	木村ほか(2008)群馬県西部(南牧村・下仁田町)におけるネズミ類生息調査(予報). 群馬県立自然史博物館研究報告, 12: 87-91.				
10	妙義山		○	下仁田町の地質	地質	中村庄八・妙義団体研究グループ(2009)妙義山における後期中新世火山体の崩壊構造. 地学団体研究会第63回シンポジウム要旨集, 45-47		
					地質	中村(2000)妙義山の石門地形. 群馬評論, 82: 46-49.		
					地質	中村・妙義団体研究グループ(2000)妙義古火山の一生. 群馬評論, 82: 52-56.		
					地質	菅原ほか(2016)群馬県中西部妙義山の黒曜岩の産状および岩石記載. 群馬県立自然史博物館研究報告, 20: 129-132.		
					動物	深井(2000)鳥たちの四季. 群馬評論, 82: 62-64.		
					植物	里見(2000)妙義山の植物. 群馬評論, 82: 57-61.		
				歴史	萩原(2000)基督者と妙義山. 群馬評論, 82: 66-72.			
11	小坂坂峠道				歴史			
12	鬼ヶ沢橋梁				歴史	日本土木学会選奨土木遺産(平成27年度) https://www.jsce.or.jp/branch/kanto/04_isan/h27/h27_6.html		
13	下仁田町歴史館							
14	川井の断層		○					
15	青岩公園		○	下仁田町の地質	地質	高橋ほか(2007)鐮川の石. 群馬県立自然史博物館研究報告, 11: 77-86.	○	
					地質	高木ほか(2016)関東山地北縁部の低角度構造境界. 地質学雑誌, 122: 305-324.		
16	下仁田層		○	化石採集の旅 関東編(地学団体研究会, 1967). 地学日曜散歩(木崎ほか編, 1971). 下仁田町の地質(下仁田自然学校, 2009)ほか	化石	Yokoyama(1926)Neogene Shells from Kozuke and other Provinces. Journal of Faculty of Sciences, Imperial University of Tokyo, Section II, 1: 229-233.	○	
					地質	藤本・小林(1938)群馬縣碓氷川及び鐮川流域の第三紀層に就いて. 地質学雑誌, 45: 205-226.	○	
					地質	小林(1943)關東山地数地の地質に就いて. 地質学雑誌, 50: 229-241.	○	
					化石	新井ほか(1966)下仁田構造帯. 地球科学, (83): 8-24.		
					地質	神沢ほか(1968)下仁田構造帯Ⅱ. 群馬大学教育学部紀要, 自然科学編, 17: 7-19.	○	
					地質	Fujishiro and Kosaka (1999)The Lower Miocene in the Shimonita Tectonic Zone, along the northern margin of the Kanto Mountains, central Japan. Journal of Geological Society of Japan, 105: 122-139.	○	
					化石	栗原ほか(2005)群馬県の中新統下仁田層から産出した化石イガイ科二枚貝 <i>Mytilus tichanovitchi</i> Makiyama—その生層序学的・海洋古気候学的意義の再検討—. 地質学雑誌, 111: 498-507.	○	
					化石	高橋・林(2004)群馬県富岡地域に分布する中新統の地質と複合年代層序. 地質学雑誌, 110: 175-194.		
				化石	高栗・栗原(2008)下仁田層川井砂岩泥岩部層(下部中新統)産無脊椎動物化石. 群馬県立自然史博物館研究報告, 12: 63-72.			
17	こんにやく体験道場				藤本ほか(1953)関東山地北部の押し被せ構造. 秩父自然科学博物館 研究報告, 3, 1-86.	○		
18	下仁田町自然史館				地質	高木ほか(2016)関東山地北縁部の低角度構造境界. 地質学雑誌, 122: 305-324.		
					地質	藤本ほか(1953)関東山地北部の押し被せ構造. 秩父自然科学博物館 研究報告, 3, 1-86.	○	
19	跡倉クリッペのすべり面	○	○	下仁田町の地質	地質	新井ほか(1963)群馬県下仁田町の跡倉礫岩を中心とする地質学的研究. 地球科学, 64, 19-31.	○	
					地質	ウオーリスほか(1990)関東山地下仁田の跡倉ナップ運動方向とセンスについて. 地質学雑誌, 96, 977-980.	○	
					地質	Kobayashi(1996)Rotation of slip direction of the Atokura Nappe viewed from microstructural analyses of brittle shear zones in the Sambagawa belt, Southwest Japan. Journal of Structural Geology, 18, 563-571.	○	
					地質	青木ほか(1998)群馬県下仁田町南東部の跡倉クリッペ群について. 群馬県立自然史博物館研究報告, 2: 43-56.	○	
					地質	佐藤ほか(2015)関東山地北縁部の異地性岩塊や礫岩に含まれる珪長質火成岩類の年代: 跡倉ナップ実像解明の歴史と今後の課題. 群馬県立自然史博物館研究報告, 19: 69-94.	○	

					地質	高木ほか(2016)関東山地北縁部の低角度構造境界. 地質学雑誌, 122: 305-324.						
					地質	藤本ほか(1953)関東山地北部の押し被せ構造. 秩父自然科学博物館 研究報告, 3, 1-86.						
20	宮室の逆転層	○	○	下仁田町の地質	地質	内田(1961)群馬県・下仁田付近の地質. -その1, 四つ又山押し被せ構造について-. 成蹊論叢, 1: 3-18.	○					
					地質	新井ほか(1963)群馬県下仁田町の跡倉礫岩を中心とする地質学的研究. 地球科学, 64, 19-31.						
					地質	内田・佐藤(1993)跡倉逆転層. 地質ニュース, 464: 68	○					
					地質	新井・高木(1998)関東山地, 跡倉ナップの構造発達: 押し被せ褶曲の復元. 地質学雑誌, 104, 861-876.	○					
					地質	Hisada et al.(1997) Significance of detrital chromian spinels from the Cretaceous Atokura Formation, Kanto Mountains, central Japan. Memoirs of the Geological Society of Japan, 48: 85-91.	○					
					地質	新井ほか(2000)関東山地跡倉層の後背地. 地質学論集, 56:123-136.						
					化石	Matsukawa and Obata(2012) Santonian fossils from the Upper Cretaceous Atokura Formation in Kwanto Mountains, Japan, and their significance. Bulletin of Tokyo Gakugei University, Division of Natural Sciences, 64: 143-152.						
					地質	中畑ほか(2015)関東山地北縁, 上部白亜系跡倉層・栃谷層の碎屑性ジルコン年代パターン- 飛騨帯と中央構造線南縁との弧横断方向の関連-. 地学雑誌, 124: 633-656.	○					
					地質	高木ほか(2016)関東山地北縁部の低角度構造境界. 地質学雑誌, 122: 305-324.	○					
					地質	佐渡(1938)群馬県下仁田町附近に発達する跡倉礫岩層に就いて. 地質学雑誌, 45: 477-478.						
21	跡倉れき岩			下仁田町の地質	地質	杉山(1943)群馬県下仁田町附近に発達する所謂跡倉礫岩について						
					地質	藤本ほか(1953)関東山地北部の押し被せ構造. 秩父自然科学博物館 研究報告, 3, 1-86.	○					
					地質	内田(1962)いわゆる跡倉礫岩について-群馬県下仁田付近の地質, その2-. 地質学雑誌, 68: 133-140.	○					
					地質	新井ほか(1963)群馬県下仁田町の跡倉礫岩を中心とする地質学的研究. 地球科学, 64, 19-31.						
					地質	青木ほか(2003)群馬県下仁田町の跡倉不整合の再検討. 群馬県立自然史博物館研究報告, 7: 61-68.	○					
					地質	関東火山灰グループ(2009)群馬県甘楽郡下仁田町で見つかった下仁田ローム層の砂粒組成. 群馬県立自然史博物館研究報告.	○					
					地質	久田ほか(2006)江戸崎観測井の先進第三系砂岩のモード組成と帰属. 地質学雑誌, 112,72-83	○	○				
22	跡倉ナップ関連			下仁田町の地質								
	(金剛萱)							下仁田町の地質	考古	堀越・中村(2015) 鐮川上流地域にみられる石器石材「頁岩」の産地. 群馬県立自然史博物館研究報告, 19: 115-120.		
									地質	大規模地すべり研究会(2016)地すべりによる金剛萱の平坦面形成. 下仁田町自然史館研究報告,		
									地質	金剛萱遺跡研究会(2016)金剛萱遺跡の旧石器・縄文文化. 下仁田町自然史館研究報告,		
									考古	関東火山灰グループ(2016)下仁田ロームの砂粒組成. 下仁田町自然史館研究報告,		
									地質	藤本ほか(1953)関東山地北部の押し被せ構造. 秩父自然科学博物館 研究報告, 3, 1-86.	○	
地質	新井ほか(1963)群馬県下仁田町の跡倉礫岩を中心とする地質学的研究. 地球科学, 64, 19-31.	○										
23	大桑原のしゅう曲		○	下仁田町の地質	地質	高木ほか(1989)関東山地北縁部の花崗岩類のK-Ar年代. 地質学雑誌, 95, 369-380.						
24	蒔田不動の滝			下仁田町の地質	地質	須貝(1996)関東山地北部, 鐮川における河成段丘発達史. 日本第四紀学会講演要旨集, 26: 102-103.						
25	馬山丘陵			下仁田町の地質	地質	田力ほか(2007)利根川支流, 鐮川流域の河成段丘の形成時期. 2007年度日本地理学会秋期学術大会, http://doi.org/10.14866/ajg.2007f.0.38.0	○					
					地質	田力ほか(2011)利根川支流, 鐮川地域における飯縄火山起源の中期更新世テフラ. 第四紀研究, 50: 21-34.	○					
					地質	藤本・小林(1938)群馬県碓氷川及び鐮川流域の第三紀層に就いて. 地質学雑誌, 45: 205-226.						
26	富岡層群 小幡層			下仁田町の地質	地質	Matsumaru, K.(1967)Geology of the Tomioka Area, Gunma Prefecture, with a note on " <i>Lepidocyclina</i> " from the Abuta Limestone Member. Sci. Rep. Tohoku Univ., 2nd Ser.(Geol.), 39(2): 113-147.						
					化石	神沢ほか(1968)下仁田構造帯Ⅱ. 群馬大学教育学部紀要, 自然科学編, 17: 7-19.						
					化石	平山(1981): 関東平野周辺部の第三紀軟体動物化石群について. In 小林巖雄(編)軟体動物の研究(大森昌衛教授還暦記念論文集). 大森昌衛教授還暦記念論文集刊行会, 新潟市, p. 271-281.	○					
	地質				高橋・林(2004)群馬県富岡地域に分布する中新統の地質と複合年代層序. 地質学雑誌, 110: 175-194.							
	その他 富岡層群				化石	矢崎(1967)関東山地北縁部からコンプトニアの発見とその意義(短報) 地質学雑誌73巻12号 573-574	○	○				
地質	久保・角田(1970)馬県南西部に分布する神戸砂泥互層の砂岩. 地質学雑誌76巻 7号337-346											
27	道の駅 しもにた						○					
28	奥栗山溪谷			下仁田町の地質	地質	新井ほか(2011)群馬県下仁田地域に分布する御荷鉾緑色岩類中のひすい輝石とその岩石鉱物学的特徴. 岩石鉱物科学, 40: 177-194.	○					
29	稲倉山			下仁田町の地質	地質	新井ほか(2011)群馬県下仁田地域に分布する御荷鉾緑色岩類中のひすい輝石とその岩石鉱物学的特徴. 岩石鉱物科学, 40: 177-	○					

30	茂垣の枕状溶岩				下仁田町の地質	地質	Fujishiro and Kosaka (1999) The Lower Miocene in the Shimonita Tectonic Zone, along the northern margin of the Kanto Mountains, central Japan. Journal of Geological Society of Japan, 105: 122-139.
31	はねこし峡				下仁田町の地質		

その他(テーマ別)

下仁田ねぎ				新版下仁田ネギ 文庫⑦	農業	塚本(2007)「群馬県の農業と土壌肥料」日本土壌肥科学雑誌 6号 636-640			○
					農業	菊池(1986)「群馬県下仁田町におけるねぎの生産形態」新地理 11-23			
					農業				
					農業				
コンニャク				名産下仁田コンニャク 文庫⑥					
鶏冠石					鉱物	松原 聰・宮脇律郎(2001) 群馬県西ノ牧鉱山産のAs-S系鉱物. 日本鉱物学会 2001年会・日本岩鉱学会2001年度学術講演要旨集,D04,p212			

					植物	永野・野口(1958)群馬県四ツ又山における石灰岩地と(それに隣接する)石英閃緑岩地の蕨類相. 秩父自然科学博物館研究報告, 8:		
鹿岳・四ツ又山					植物地質	里見・高橋(1976)鹿岳地域. 「良好な自然環境を有する地域学術調査報告書(Ⅱ)」。群馬県, p. 124-127.		
					地質ほか	高橋ほか(1982)鹿岳・四ツ又山周辺. 「良好な自然環境を有する地域学術調査報告書(Ⅷ)」。群馬県, p. 39-44.	○	
					地質	高木ほか(1989)関東山地北縁部の花崗岩類のK-Ar年代. 地質学雑誌, 95: 369-380.	○	
					地質	高木・藤森(1989)関東山地北縁部の異地性花崗岩体. 地質学雑誌, 95: 663-685.		
					植物動物	群馬県立自然史博物館(2005)四ツ又山・鹿岳地域の生物・地質調査. 群馬県立自然史博物館研究報告自然史調査報告書, 3: 1-34.		○
白石石灰					地形、防災	橋本智昌ほか(1981)群馬県下仁田町における石灰岩壁周辺の表層変動 地質調査所月報32巻9号 503-518		
					環境	小坂丈予(1991)草津白根火山を源泉とする酸性河川 湯川水系の石灰中和による水質改善 (Gypsum & Lime No234)		
中小坂以外の鉱山・鉱物資源					鉱物	松山文彦(?)群馬県下仁田町中丸鉱山東坑の輝安鉱. 鉱物情報,938-939		
						加藤 昭(1972) 櫻井鉱物標本. 櫻井欽一博士還暦記念事業会,177p(p20)		
					鉱物	Geological Survey of Japan(1970)「Introduction to Japanese Minerals」. 地質調査所,208p(p17.下仁田町西ノ牧鉱山)		
					鉱物	後藤・佐藤・松田(1975) 群馬県下仁田産 濁沸石 鉱物学雑誌 第12巻 253-266		○
					鉱泉	飯島静男・木崎喜雄(1986) 群馬県西部の温泉地質. (社)群馬県温泉協会学術調査研究報告,群馬県,12p		
鉱泉					鉱泉	酒井幸子・氏家淳雄・木崎喜雄(1986) 群馬県西部にある温泉の化学成分. (社)群馬県温泉協会学術調査研究報告,群馬県,8p		
					珪藻	吉田武雄・中島啓治・木崎喜雄(1986) 青倉温泉郷の珪藻フローラ. (社)群馬県温泉協会学術調査研究報告,群馬県,2p		
					珪藻	吉田武雄・中島啓治(1987) 坂口温泉・下仁田温泉の珪藻フローラ. (社)群馬県温泉協会学術調査研究報告,群馬県,2p		
					珪藻	酒井幸子・鈴木勲子(1995) 群馬県の荒船温泉の化学成分. (社)群馬県温泉協会学術調査研究報告,群馬県,1-10		
					珪藻	鈴木勲子・酒井幸子・横林洋子(1995) 群馬県荒船温泉産沈殿物. (社)群馬県温泉協会学術調査研究報告,群馬県,11-20		
					珪藻	酒井幸子(2008) 群馬県南部から西部域にある大深度掘削泉の成分比較. (社)群馬県温泉協会学術調査研究報告,群馬県,42p		
					珪藻	酒井幸子(2010) 群馬県内の塩化物泉について. (社)群馬県温泉協会学術調査研究報告,群馬県,51p		
人文地理					地理	原沢文弥(1958)江戸時代における宿駅と脇道往還交通との関係について 地理学評論277-291		
					地理	矢嶋仁吉(1958)群馬県鎚川流域における谷口集落の研究 地理学評論169-181		
					気候	佐藤典人・森田高弘(2016) 上信越自動車道沿線の霧の発現に関する気候学的研究 法政地理 48巻 17-32		

凡例	
解説看板	○:あり、△:？、×:なし、空欄:確認中
個別解説パンフ	○:あり、×:なし、空欄:確認
ガイドによる解説	○:あり、×:なし、空欄:確認中
査読	○:あり、×:なし、空欄:確認中